



04 付録

| | | | |
|-----------------------|----|---------------------------------|----|
| パスコード | 73 | Certification information (SAR) | 76 |
| PIN & PUK | 73 | FCC Compliance Statement | 77 |
| PIN2 & PUK2 | 73 | 仕様 | 78 |
| 制限コード | 73 | お問い合わせ先 | 79 |
| トラブルシューティング | 74 | 故障受付窓口について | 79 |
| 携帯電話機の比吸収率 (SAR) について | 75 | | |

04 付録

201TH および SIM カードで使用する暗証番号には、複数の種類があります。201TH の不正使用を防止するうえで役立ちます。

メモ

- ・ 誤って緊急電話番号に電話をかけたりすることがないように、緊急電話番号に似た番号を暗証番号に使用しないようにしてください。

パスコード

パスコードを使用して、201TH の不正使用を防止できます。お買い上げ時は、「0000」が設定されています。

パスコード（4～8桁）を利用して201THをロックします。パスコードを「ON」にしている場合、再起動後、201THは自動的にロックされます。パスコードを入力するとロックが解除され使用できるようになります（P.67）。

PIN & PUK

PIN は 4～8 桁で構成されています。PIN コード（PIN1 コード）は、SIM カードの不正使用を防止します。3 回続けて間違った PIN コードを入力すると、SIM カードはロックされます。ロックを解除するには、PUK コード（PUK1 コード）を入力する必要があります（P.66）。

PIN コード／PUK コードは 201TH をお買い上げ時にソフトバンクより提供されます。

PIN コード（4～8 桁）の設定を「ON」にすると、再起動後、自動的に PIN コードロック機能が働きます。PIN1 コードを入力するとロックが解除され使用できるようになります（P.66）。

PIN2 & PUK2

PIN2 はネットワーク関連の設定を行う際に必要になります。ダイヤル制限では、PIN2 を入力する必要があります。PIN コードと同様に、3 回続けて間違った PIN2 コードを入力すると、SIM カードはロックされます。ロックを解除するには、PUK2 コードを入力する必要があります。PIN2 コード／PUK2 コードは 201TH をお買い上げ時にソフトバンクより提供されます。

制限コード

制限コードは、通話制限機能で必要となるネットワークコードです。制限コードは 201TH をお買い上げ時にソフトバンクより支給されます。お買い上げ時には「0000」にあらかじめ設定されています。制限コードを紛失した場合、お問い合わせ先（P.79）までご連絡ください。

トラブルシューティング

1.電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられており、充電済みであることをご確認ください。
- 充電器につないでも 201TH の電源が入らない場合は、お問い合わせ先 (P.79) までご連絡ください。

2.「SIM カードを挿入してください」と表示される

- SIM カードを一度抜き、再度挿入してください。
- SIM カードは必ず、有効なものをご使用ください。間違った PUK コードを入力すると、SIM カードが無効になる場合があります。
- SIM カードが汚れたり、破損していないかご確認ください。

3.パスコードを紛失または忘れた

- 工場出荷時のパスコードは「0000」に設定されています。
- 設定したパスコードを思い出せない場合は、お問い合わせ先 (P.79) までご連絡ください。

4.パソコンに GPS データを送信できない

- データケーブルが正しく取り付けられていることをご確認ください。
- 選択しているポートの設定をよくご確認ください (P.64)。
- データのポート設定がパソコンの設定と合っているかご確認ください。

5.201TH を水の中に落とした

- 電池パックを取り外し、部品がすべて乾いたら、お問い合わせ先 (P.79) までご連絡ください。

6.GPS アイコンが点滅している

- 201TH の場所情報を更新する必要がある際に GPS アイコンが点滅します。201TH の電源が入っている状態で、更新が必要なタイミングがくると自動的に行われます。アンテナを完全に伸ばし、衛星までの直接見通し線が周囲の高層ビルなどの建物、背の高い木や山などの障害物によって遮られていないかご確認ください。場所の更新が完了すると、このアイコンは点滅しなくなります。

7.「position too old」(場所が古すぎます) と表示される

- 電話をかける際に、このポップアップメッセージが表示される場合があります。これは通常、201TH の場所情報を更新する必要があることを意味しています。

04 付録

携帯電話機の比吸収率^{※1}(SAR) について

この機種 201TH の衛星携帯電話は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準^{※1}は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) について、これが $2\text{W/kg}^{\ast 2}$ の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

この衛星携帯電話 201TH の、SAR は 0.338W/kg です。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
- 一般社団法人電波産業会のホームページ
<http://www.arib-emf.org/index02.html>

- ※1 技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第 14 条の 2) で規定されています。
- ※2 平成 9 年に (旧) 郵政省 電気通信技術審議会により答申された「電波防護指針」に規定されています。

電波ばく露の影響に関する情報として、米国連邦通信委員会 (FCC) の基準および欧州における情報を掲載しています。

- FCC Compliance Statement 米国連邦通信委員会 (FCC) (英文のみ) (P.77)
- Certification information (SAR) 欧州 (英文のみ) (P.76)

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関 (英文のみ)

<http://www.who.int/emf>

SoftBank 各機種の電波比吸収率 (SAR) 一覧はこちら

<http://mb.softbank.jp/mb/support/sar/>

Certification information (SAR)

THIS DEVICE MEETS INTERNATIONAL GUIDELINES FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES

Your wireless 201TH is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the limits for exposure to radio frequency (RF) recommended by international guidelines (ICNIRP). These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure guidelines for mobile devices employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate or SAR. The SAR limit stated in the ICNIRP guidelines is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue. Tests for SAR are conducted using standard operating positions with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. The actual SAR level of an operating device can be below the maximum value because the device is designed to use only the power required to reach the network. That amount changes depending on a number of factors such as how close you are to a network base station. The highest SAR value under the ICNIRP guidelines for use of the device at the ear is 0.324 W/kg

This satellite mobile phone cannot be used in a body-worn position because in this position the phone cannot properly receive and transmit the satellite signal therefore in this mode of operation is not practical and restricted in use.

Use of device accessories and enhancements may result in different SAR values. SAR values may vary depending on national reporting and testing requirements and the network band. Additional SAR information may be provided under product information at www.apsi.co.kr

04 付録

FCC Compliance Statement

Your mobile device is also designed to meet the requirements for exposure to radio waves established by the Federal Communications Commission (USA) and Industry Canada. These requirements set a SAR limit of 1.6 W/kg averaged over one gram of tissue. The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.570 W/kg, and when worn on the body in the following manner, is 1.079 W/kg. Although not intended to support operations when body-worn (in this position the phone cannot properly receive and transmit the satellite signal therefore in this mode of operation is not practical) the use of body-worn accessories is limited to belt-clips, holsters, or similar accessories that have no metallic component in the assembly and which provide at least 0.5cm separation between the device, including its antenna, and your body.



注意

本機は使用時に無線周波数エネルギーを発生します。取扱説明書で許可されている場合を除き、本機の部品を変更したり、改造すると有害な電波障害を発生させる恐れがあります。許可されていない部品の変更や改造を行った場合は、本機を使用する権利を失う恐れがあります。

RoHS

本機は EU RoHS 指令に適合した部品、鉛フリーのはんだを使用して製造されています。

仕様

■本体

| 項目 | 説明 |
|-----------------|-----------------------|
| 質量 (電池パック装着時) | 約 193g |
| 連続通話時間 | 約 6 時間 |
| 連続待受時間 | 約 80 時間 |
| 充電時間 | 約 2 時間 |
| サイズ (H × W × D) | 約 128 × 53.5 × 27.6mm |
| 最大出力 | 2W |

■電池パック

| 項目 | 説明 |
|-----------------|------------------------|
| 電圧 | 3.7 V |
| 使用電池 | リチウムイオン電池 |
| 容量 | 2520mA |
| サイズ (H × W × D) | 約 84.6 × 35.8 × 13.1mm |

04 付録

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ソフトバンクモバイル国際コールセンター

お問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡

<国内から>

一般電話・携帯電話から ☎ 0088-24-0018（無料）

<海外から>

一般電話・携帯電話から +81-92-687-0025（有料）

※ソフトバンク携帯電話からは無料

ソフトバンク衛星電話から +81-92-687-0025（無料）

故障受付窓口について

ソフトバンク衛星電話の故障受付窓口は日本国内のみとなり、海外にはございません。

ソフトバンク衛星電話を海外でご利用の際、故障した場合には、故障品を日本国内にお戻しになり、日本国内のソフトバンクショップまたはオンライン修理受付にて修理申込みいただきますようお願い申し上げます。なお、弊社オンライン修理受付は、国外への発送には対応しておりません。

発売元 ソフトバンクモバイル株式会社
製造元 Asia Pacific Satellite communications Inc.
輸入元 Thuraya Telecommunications Japan 株式会社

2014年8月 第1版